

---

# 2013年3月期 決算説明会

---

2013年5月23日

株式会社 **クロスキャット**

*Cross Computer Application Technology*

---

# 決算の概要

---



# 2013年3月期 決算概要

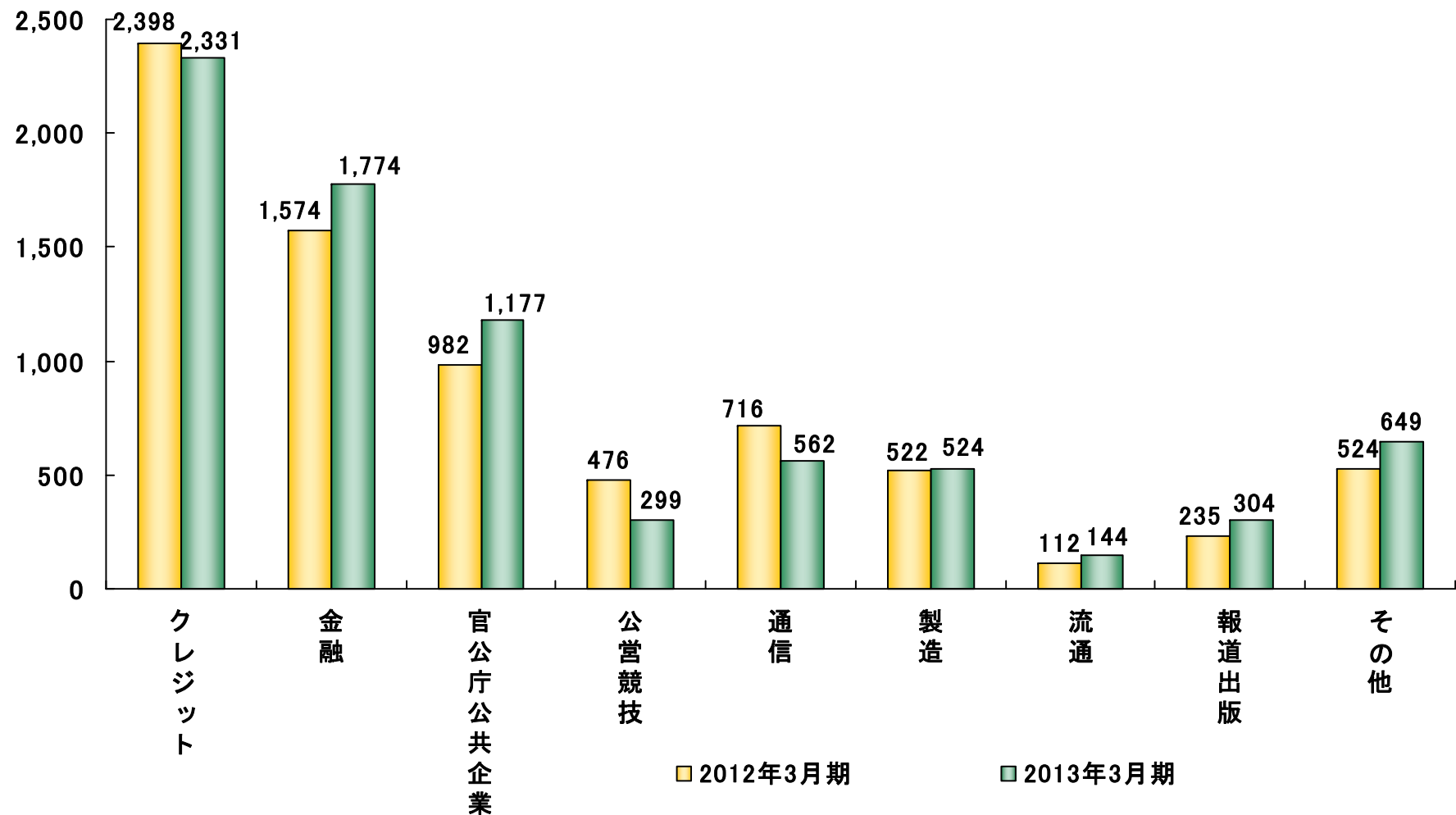
百万円、%

	2012年3月期 単独		2013年3月期 単独					
	金額	百分比	従来予想		実績			
			金額	百分比	金額	百分比	前期比	予想比
売上高	7,543	100.0	7,700	100.0	7,768	100.0	3.0	0.9
売上総利益	1,287	16.9	1,346	17.5	1,269	16.3	▲0.7	▲5.7
販管費	1,015	13.5	1,046	13.6	961	12.4	▲5.3	▲8.1
営業利益	263	3.5	300	3.9	308	4.0	17.0	2.7
経常利益	277	3.7	300	3.9	315	4.1	13.5	5.1
当期純利益	119	1.6	150	1.9	184	2.4	54.0	22.8

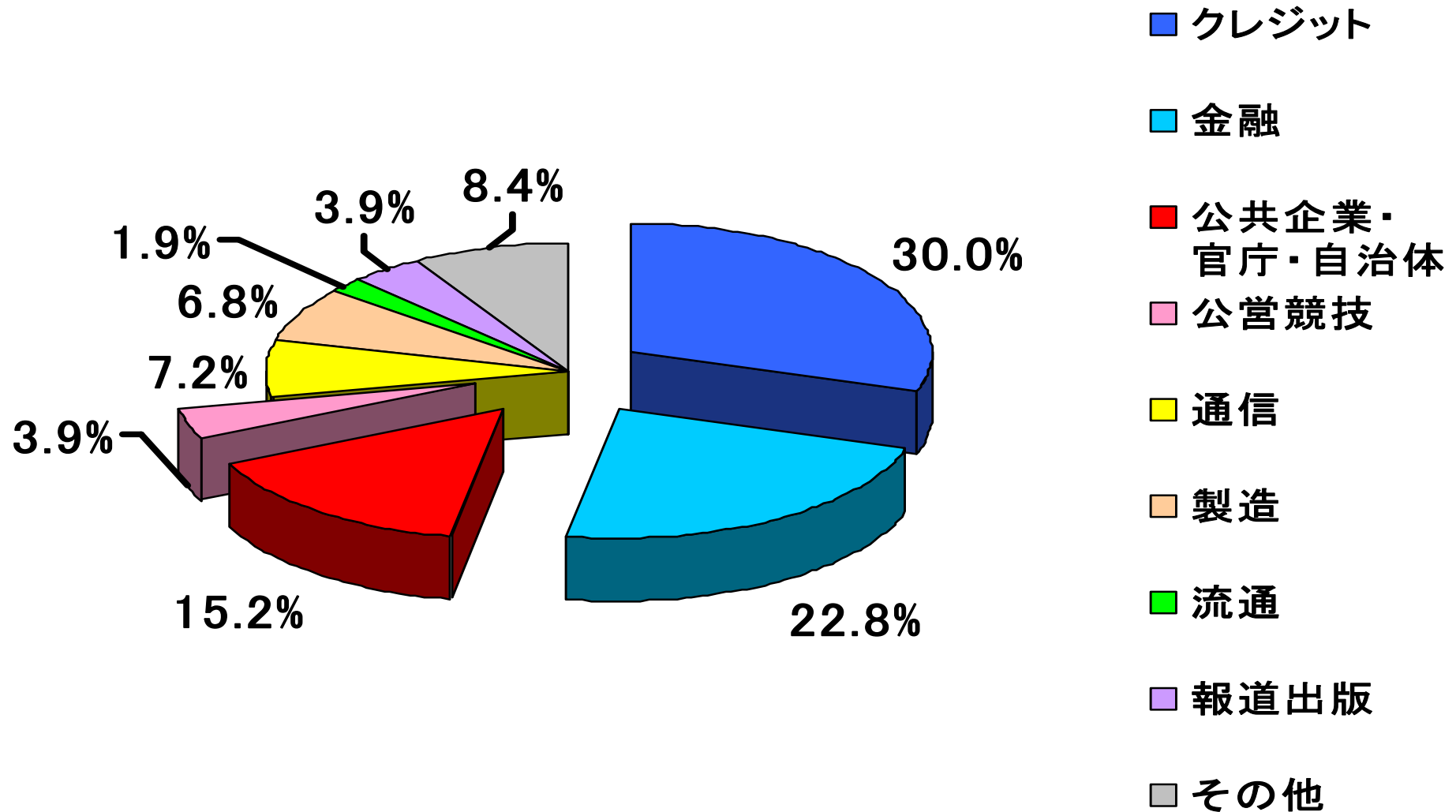
- ・金融系/官公庁入札案件が順調
- ・一括受注の進行基準増加
- ・継続的な経費削減効果

# 売上高 増減要因分析 ①業種別

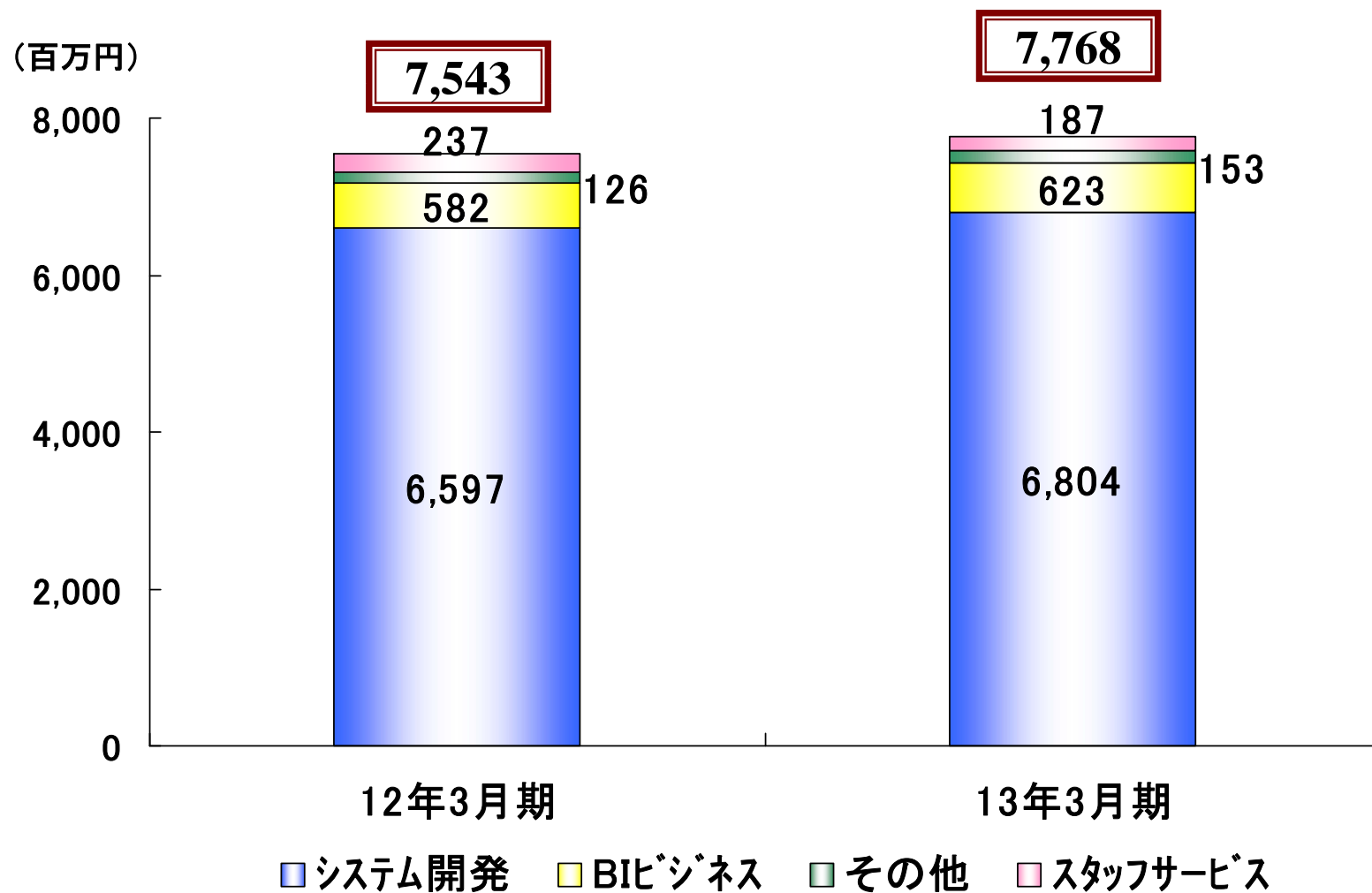
(百万円)



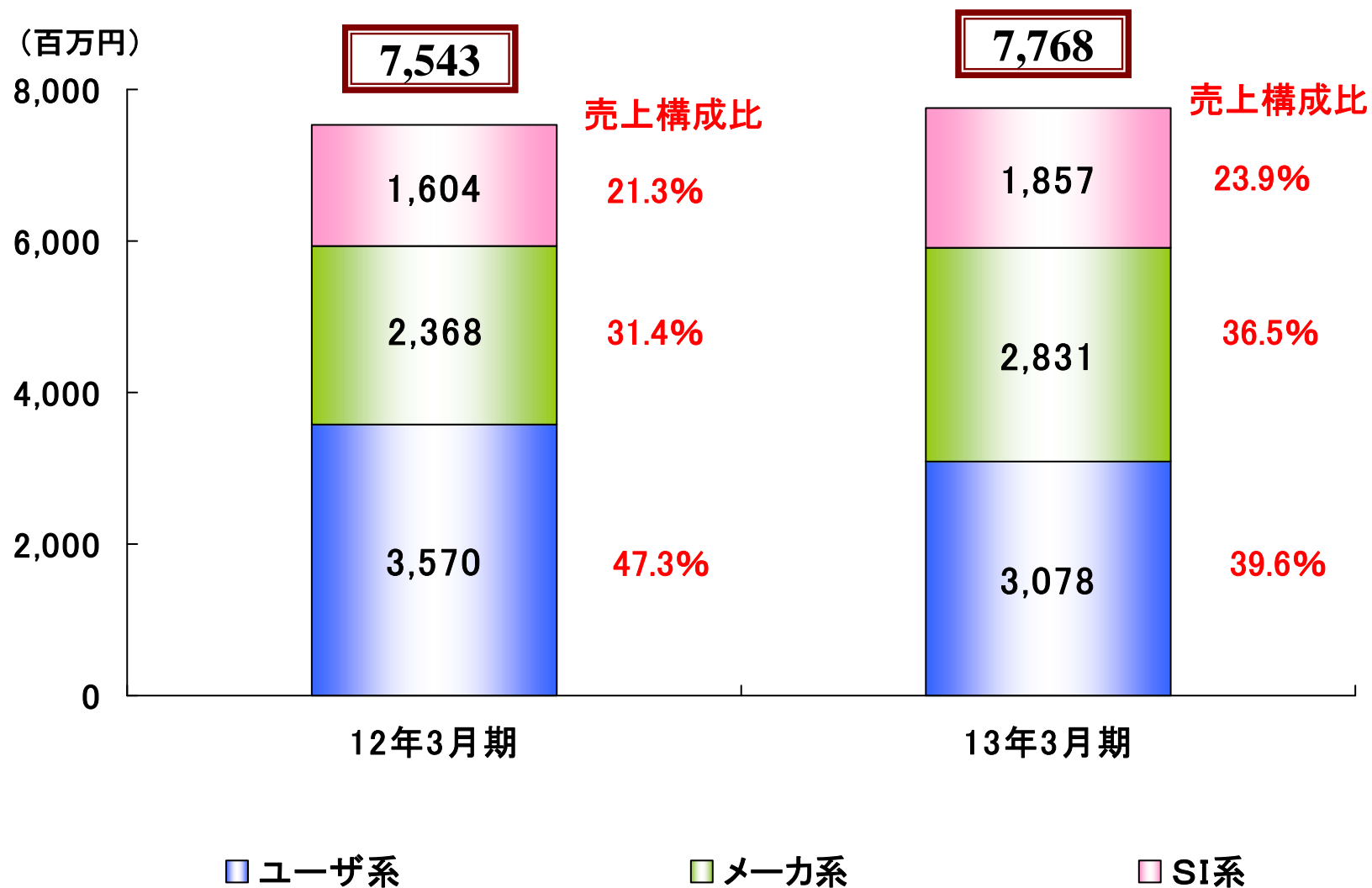
# 業種別売上高 構成比



## 売上高 増減要因分析 ②事業別売上高

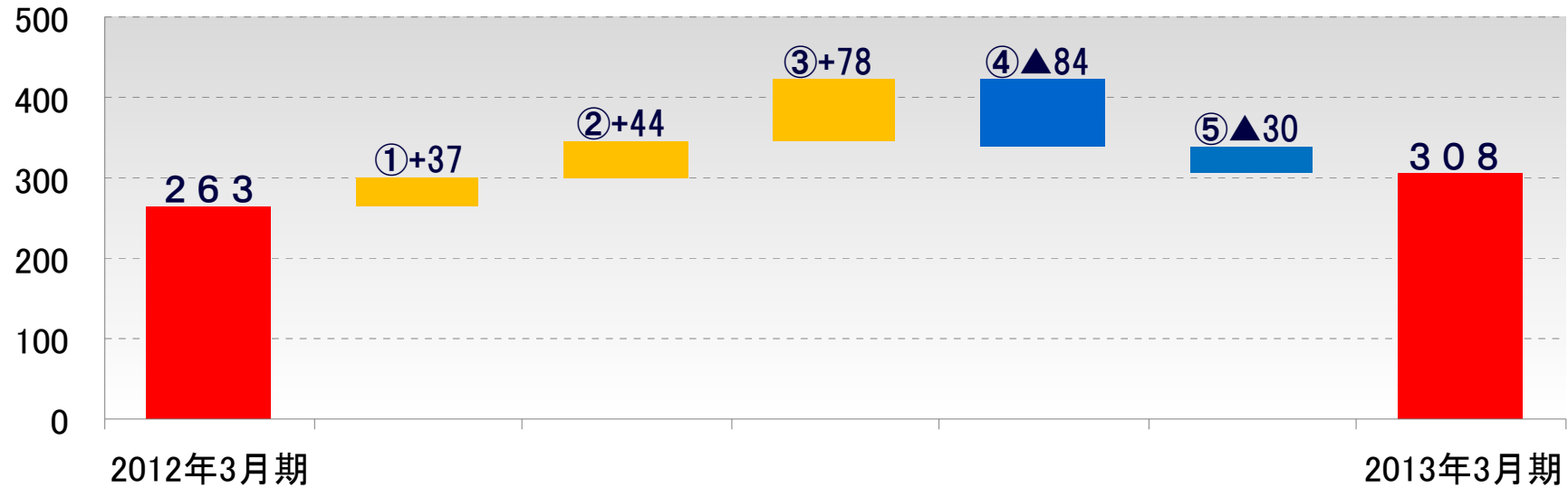


# 売上高 増減要因分析 ③契約先別



# 営業利益 増減要因分析(対前期比)

(百万円)



① 増収効果 +37百万円

② 生産性の改善 +44百万円

③ 経費の削減 +78百万円 (内訳：販管費54百万円、製造経費24百万円)

④ 赤字の拡大 ▲84百万円

⑤ 受注損失の引当て拡大 ▲30百万円



# 決算を振り返り

## 総括

- 中期経営計画のスタート年度として計画をクリア、増収増益を達成
- 予算執行管理によるコストの抑制

## 課題

- 赤字プロジェクトの撲滅に向けたPMOの更なる進化
- 受注時のリスク把握について、営業と開発による検討強化

---

# 2014年3月期の見通し

---

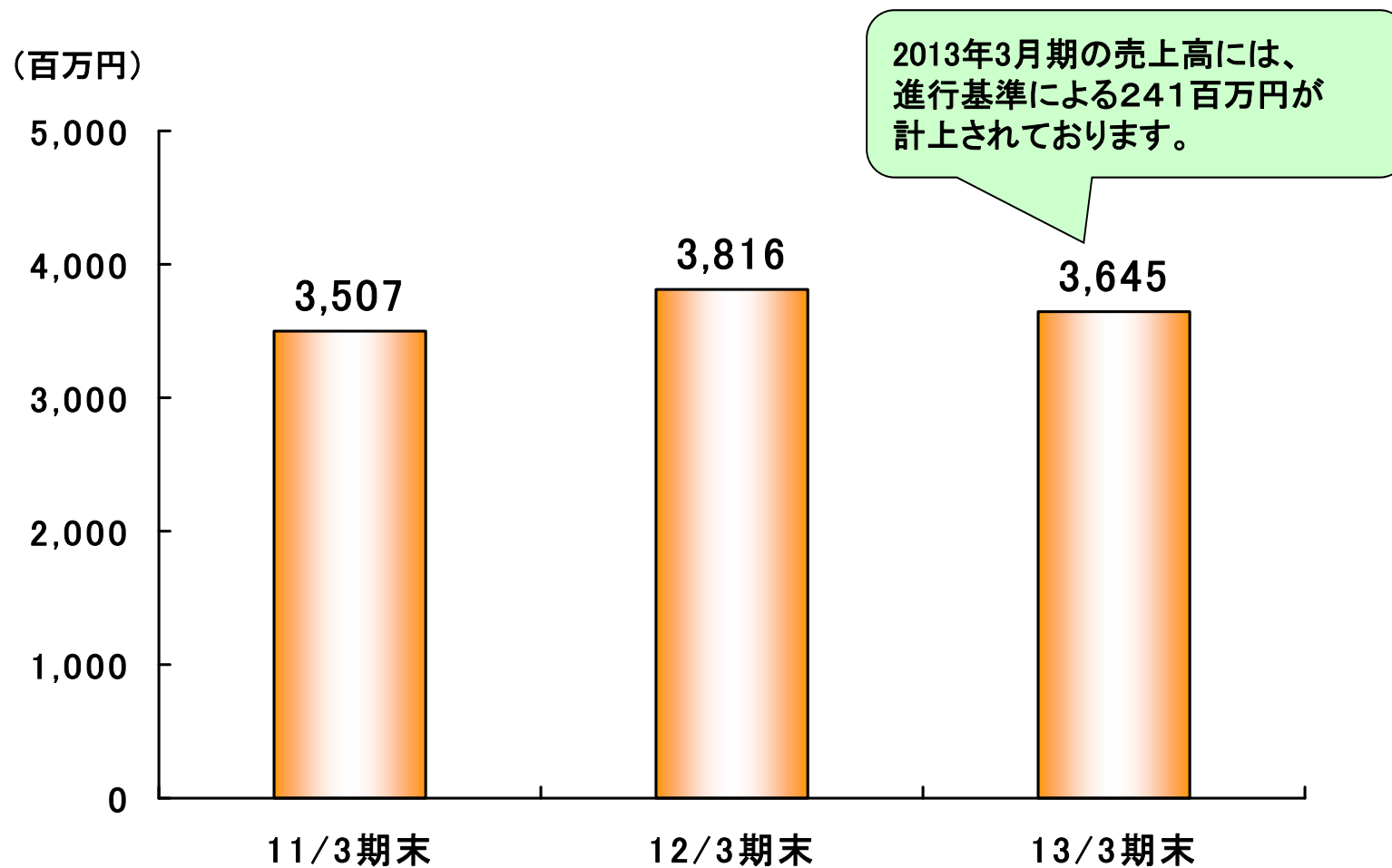


# 2014年3月期 決算予想

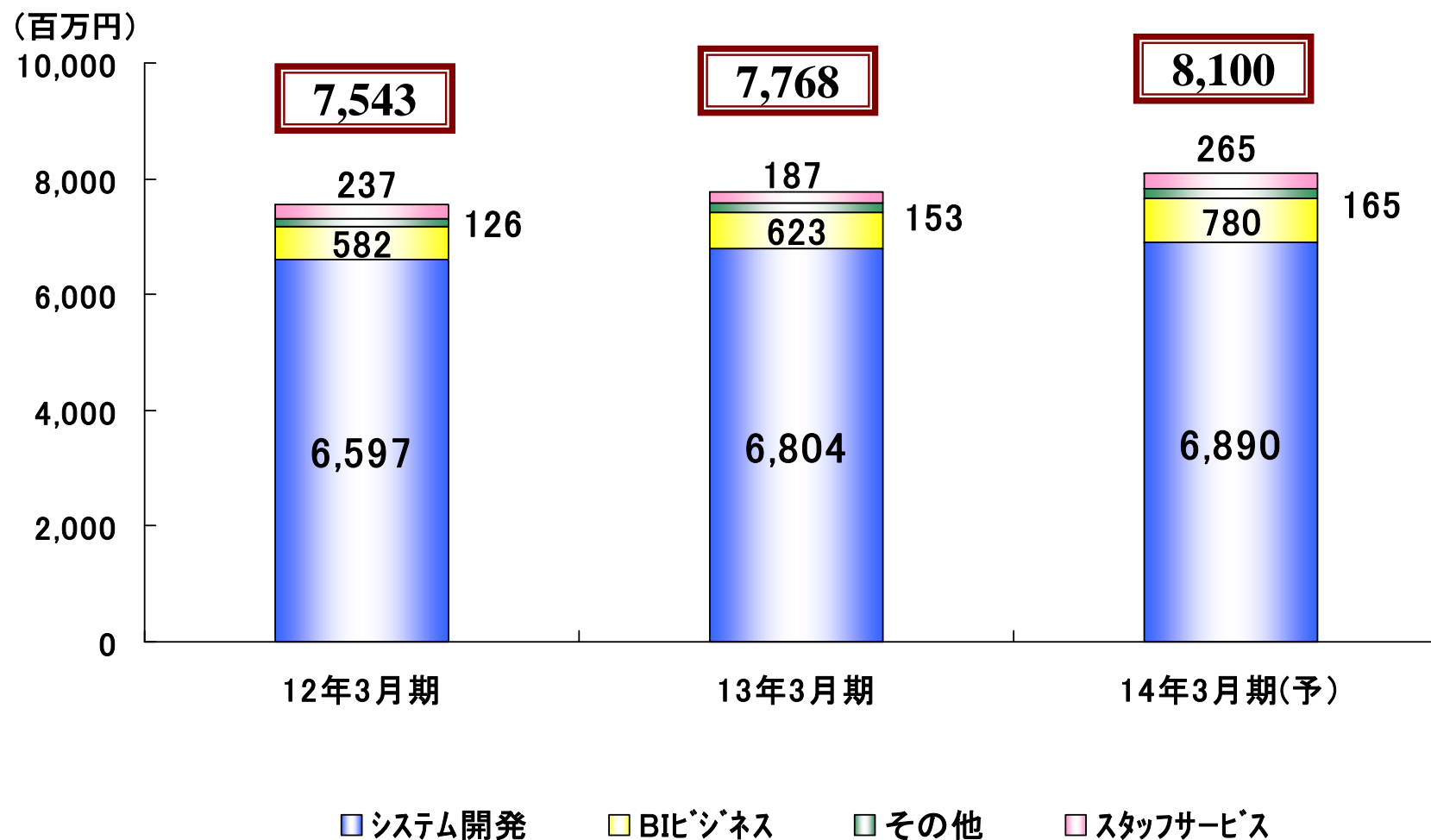
百万円、%

	2013年3月期		2014年3月期 (予)		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	7,768	100.0	8,100	100.0	4.3
売上総利益	1,269	16.3	1,423	17.6	12.1
販売管理費	961	12.4	1,053	13.0	9.6
営業利益	308	4.0	370	4.6	20.1
経常利益	315	4.1	370	4.6	17.4
当期純利益	184	2.4	200	2.5	8.6

## 受注残 (全事業を対象に変更)

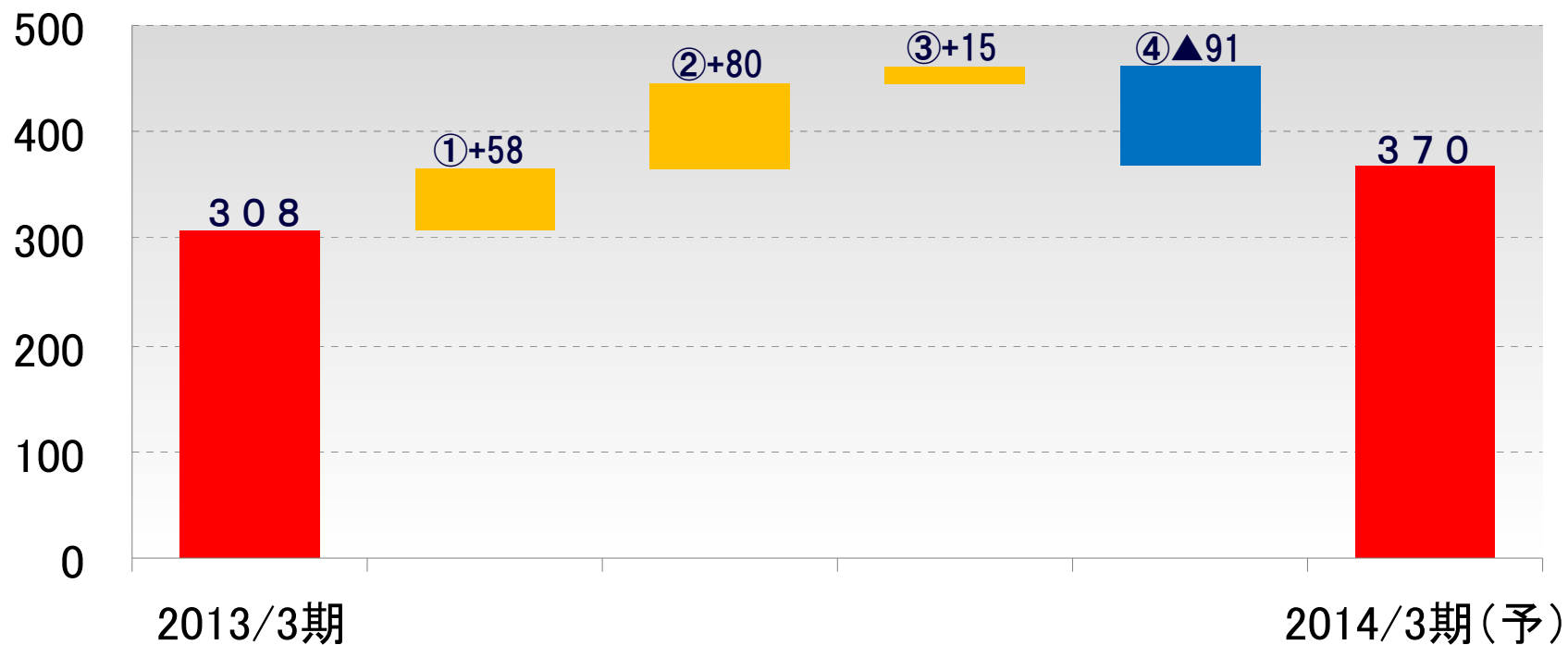


# 事業別売上高(予想)



# 今期業績予想の根拠 増減要因分析(対前期比)

(百万円)



①増収効果 +58百万円

②赤字プロジェクト改善 +80百万円

③付加価値ビジネス +15百万円

④販売管理費の増加 ▲91百万円

(研究開発、教育費、CMMIの取得準備費用)

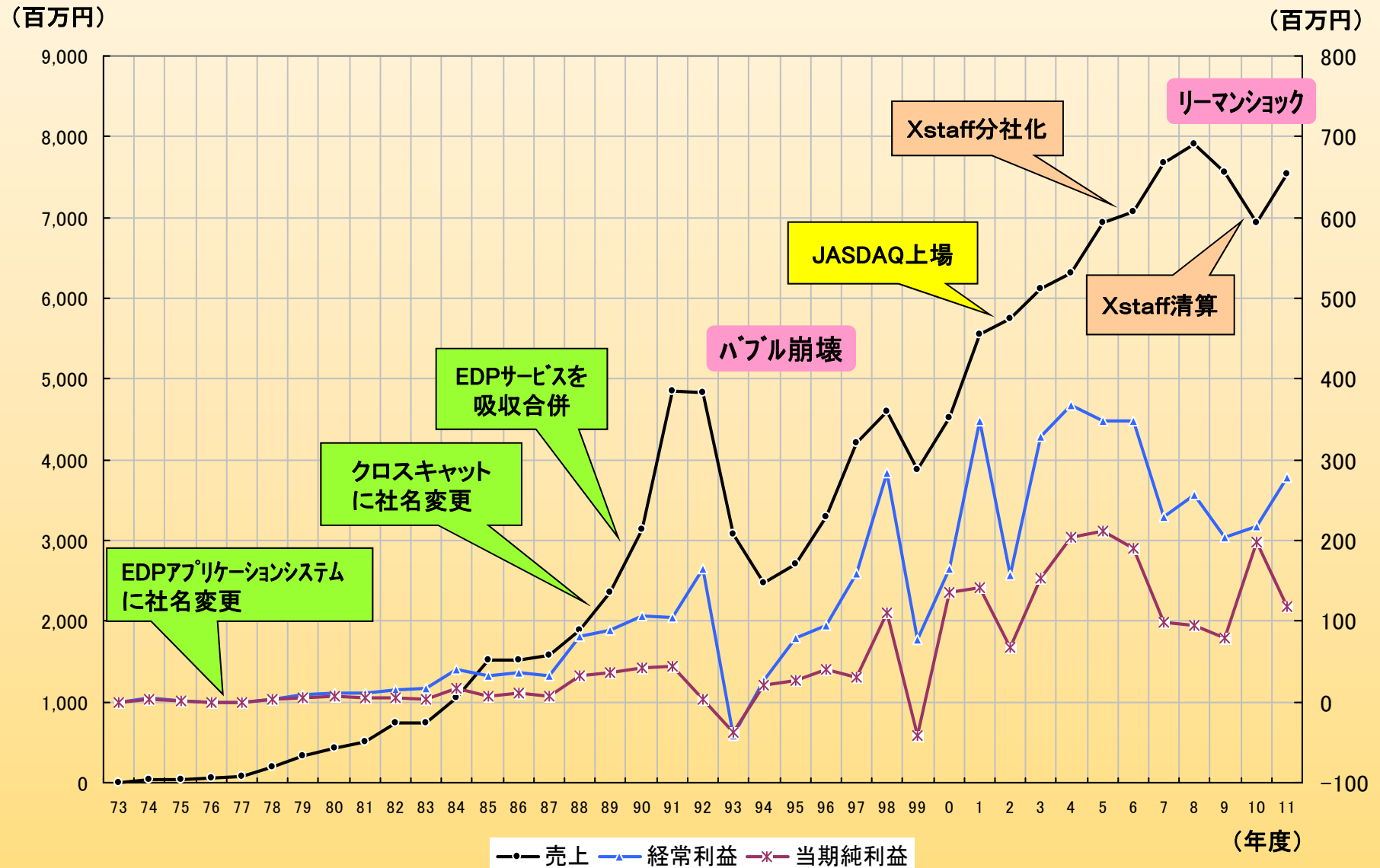
---

# 創立40周年の節目を迎え

---



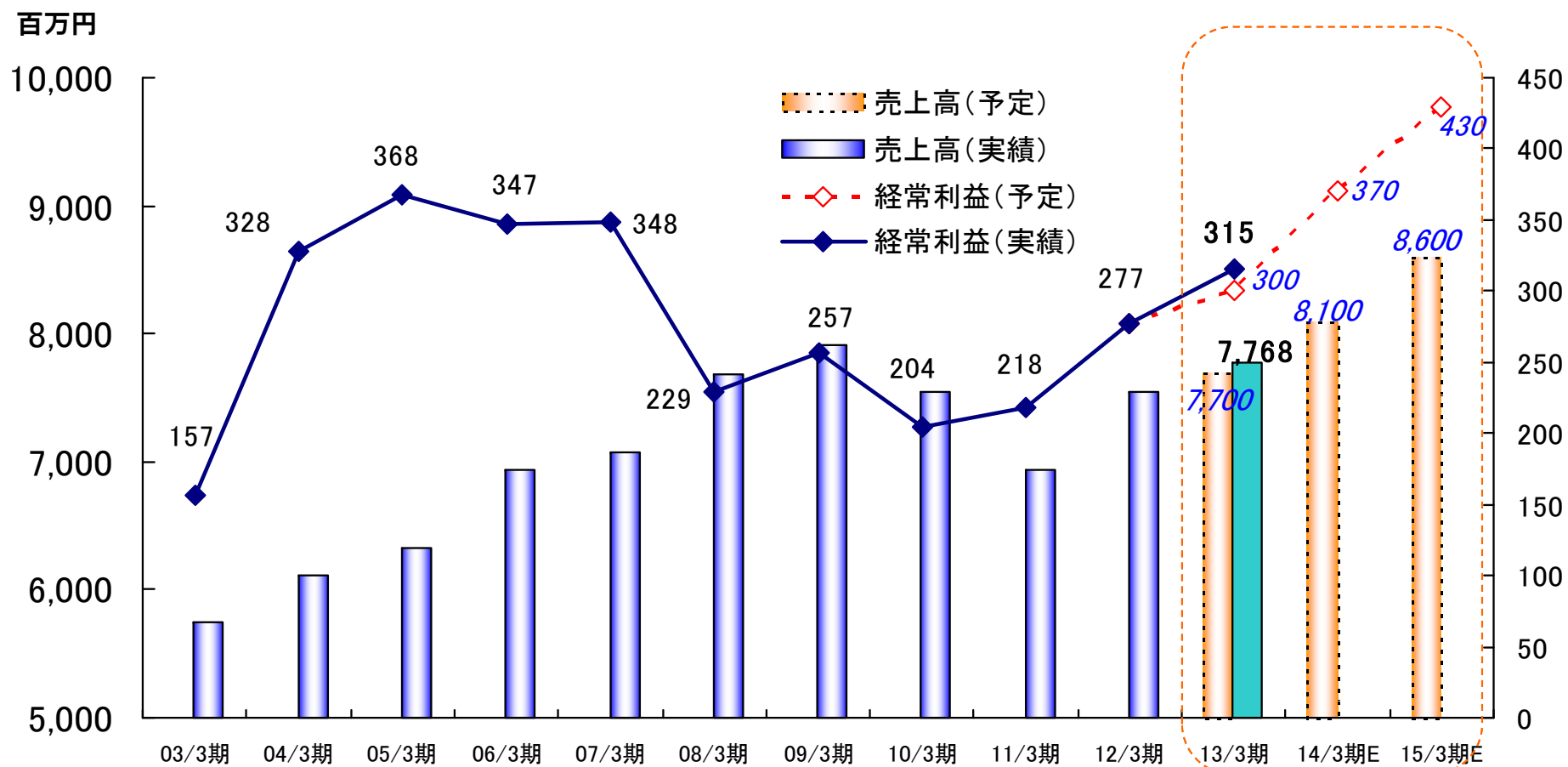
# 40年の歩みを振り返り





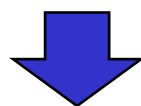
# 過去10年と中計1年目の成果

上場来 経常最高益を目指し、  
第1期は売上、利益とも計画をクリア！



# 事業環境

1. 国内産業構造  
「従来サービス」提供に加え、「新サービス」創出の動き
2. 情報インフラの高度化に伴う「データ活用」の実現化

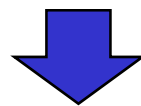


**情報システムの重要性の高まり**

# 事業環境の変化を受け

## 情報システムの重要性の高まり

=顧客要求の高度化(クオリティ・スピード・コスト)が加速



## 当社の存在意義の再定義が急務

=新たな感性、躍動感、充実した心技体の確立・進化

1. 新社長の登用

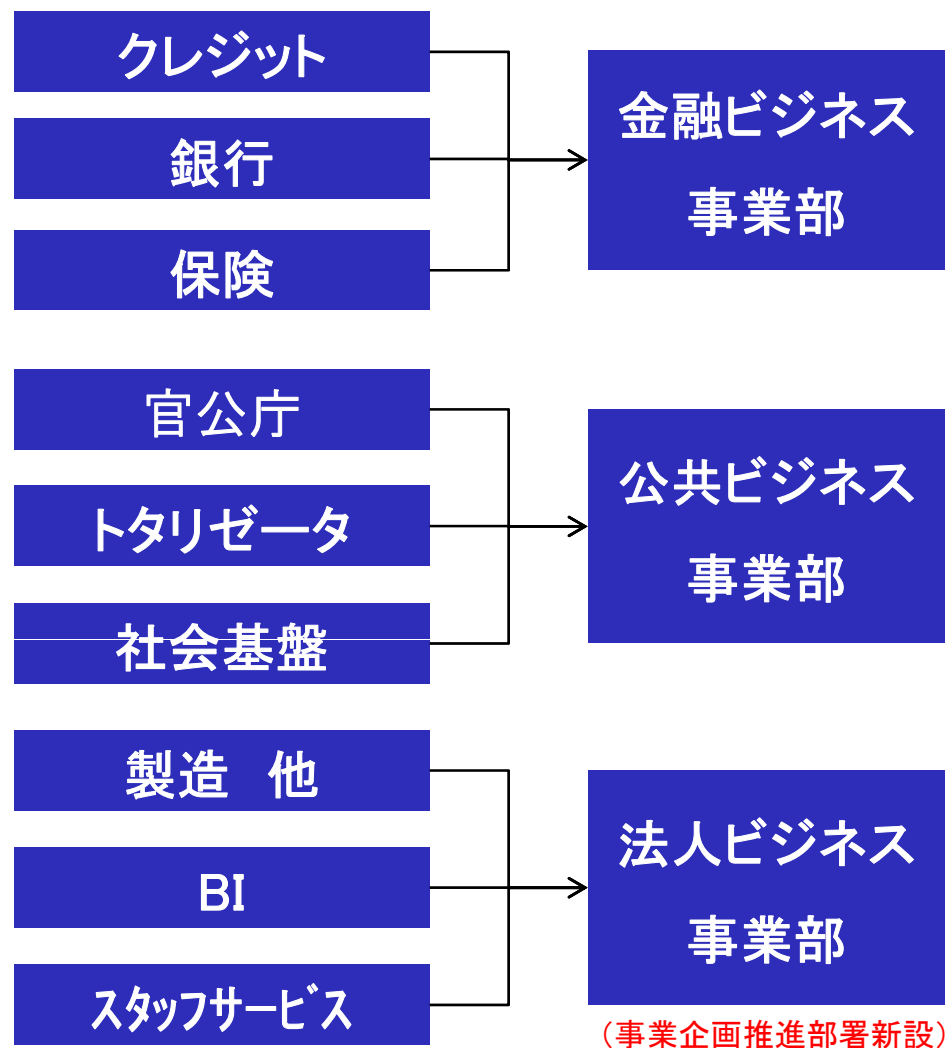
2. 経営体制の刷新

3. 組織再編

(組織の集約化、責任体制の明確化、人的資源有効活用)

世代の若返り&スピード経営

# 組織再編と責任体制の明確化



## 「組織体制見直しの狙い」

1. 組織の総合力強化
2. 3事業部に組織集約
3. 責任体制の明確化

---

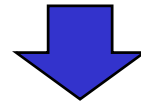
# 今後の展望

---



# 新社長として

クロスキャットを永続させる仕組みを確立する



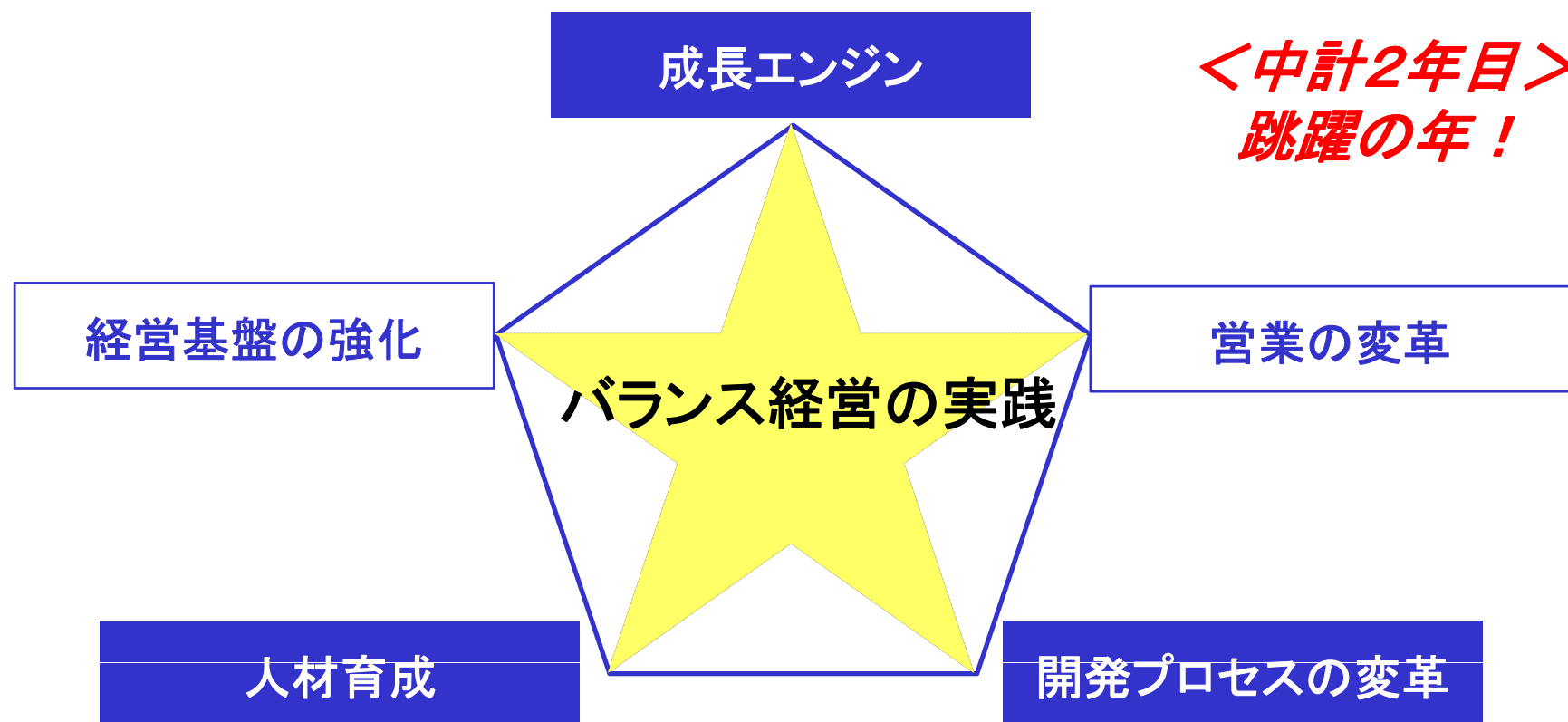
1. スピード感を持った経営
2. プロフェッショナル集団の確立
3. ROEの持続的な改善と財務体質の強化

中期経営計画(Brights 2014 Vision)の重点施策を推し進める！

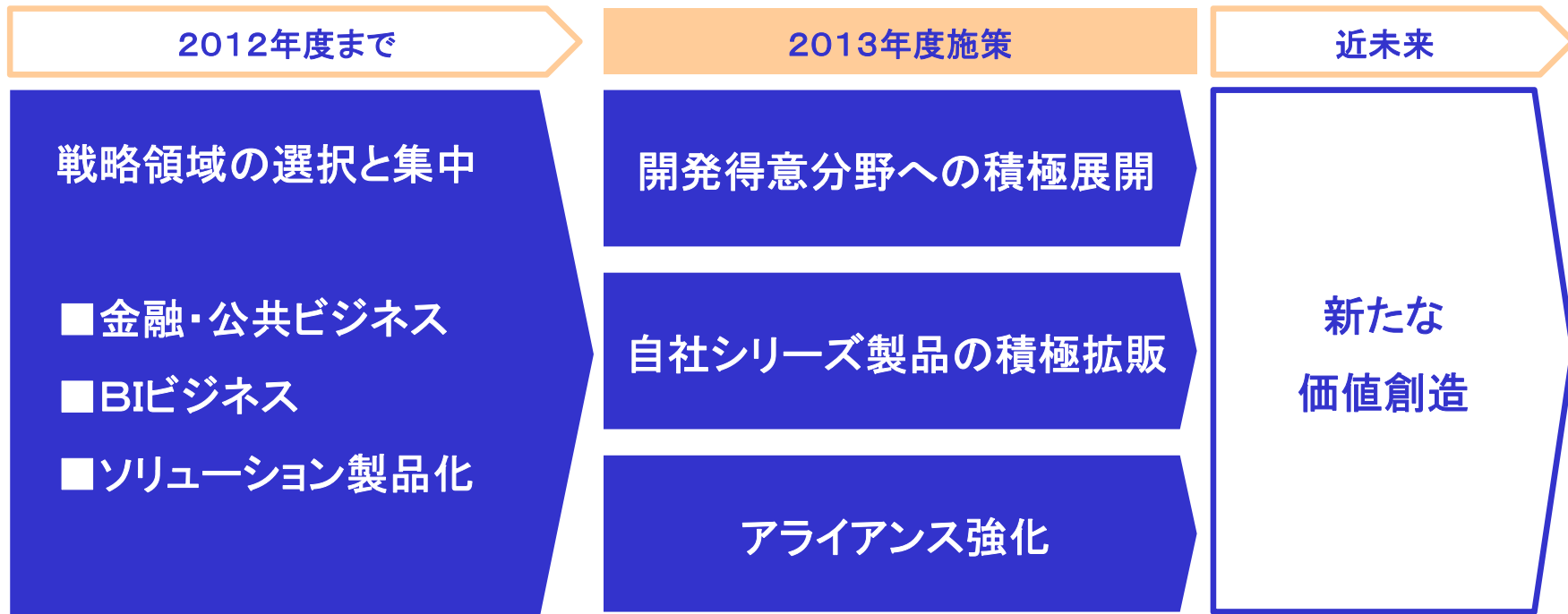
# 中期経営方針

顧客起点に立ったITサービス企業を目指して

## Brights 2014 Vision



# 成長エンジン : 戦略領域の強化





## 開発プロセス変革 : 収益力の向上・維持

**CMMI 今期末に成熟度レベル3の取得を実現！**

→ プロセス改善を社内に徹底

**案件の開始から終了までのマネジメントの強化**

→ システム構築工程だけではなく、スタートの契約手続き、  
結末の回収手続きまでの管理を厳格化することで、収益  
ロスを最小化する

# 人材育成：プロフェッショナルの育成

## <技術スキル・業務スキルの向上>

- 各種IT関連資格保有者数の底上げ
- 業務ノウハウの整理・体系化

## <ビジネスマインド・ビジネススキルの向上>

- 社員向けビジネス塾(講演会)の定期開催
- 海外視察の積極参加、業界動向の積極収集

## <社会性・コミュニケーションスキルの向上>

- 人材交流の積極推進
- 異業種交流セミナーの活用

最後に

心・技の融和をモットーに  
お客様に感動を！

- 新たな成長ステージへ！
- 顧客起点に立ったサービス提供の推進！



**\* 本資料についてのご注意**

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。